

令和7年度 キッズフロンティアIII番館(放課後等デイサービス)自己評価総括表

○保護者評価実施期間	2026年3月1日 ~ 2026年3月16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2026年3月1日 ~ 2026年3月16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後の「ほっとできる場所」として、お子さまがリラックスして過ごせる落ち着いた環境づくりを大切にしています。	クールダウンスペースの設置や活動量の調整など、お子さまの状態に合わせた柔軟な対応をスタッフ全員で意識しています。	環境設定の工夫についての知識を深め、個々の特性に応じた空間づくりをさらに充実させていきます。
2	日常生活スキルの習得を目標に、おやつ準備や片付け、あいさつなど生活に密着した活動を日課として取り入れています。	できた経験を積み重ねることで自己肯定感を育めるよう、スモールステップでの目標設定と丁寧なフォローを行っています。	生活スキルプログラムの内容を保護者と共有し、家庭でも継続して実践できるようサポートを強化します。
3	スタッフが積極的に研修や勉強会に参加し、新しい知識や支援技術を現場に取り入れる意欲が高い職場環境です。	学んだ内容を持ち帰り、チームで共有するカルチャーが根付いており、事業所全体のスキルアップにつながっています。	外部研修の受講計画を年間で策定し、特定のスタッフだけでなく全員が学びの機会を得られる体制を整えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さまの人数に対してスタッフの配置が手薄になる時間帯があり、個別への対応が十分にできないことがある。	シフトの組み方と利用者の来所パターンが合致していない時間帯があり、特定の曜日や時間に負担が集中しやすい。	利用状況のデータをもとにシフトを最適化し、必要な時間帯に適切な人員が配置される体制を整える。
2	保護者からの相談内容が多岐にわたる一方で、専門的な助言ができる体制や外部機関への繋ぎ方が十分に整っていない。	相談内容によっては対応できる専門職が限られており、適切な支援機関への紹介や連携が遅れる場合がある。	地域の相談支援機関や医療機関との連携リストを整備し、迅速に繋げる体制と担当者の役割を明確化する。
3	活動記録の記載内容にスタッフによるバラつきがあり、情報の質や量が均一でないことがある。	記録の書き方に関するガイドラインが明確でなく、何をどの程度書くべきかの基準が個人の判断に任されている。	記録の記載基準とフォーマットを統一し、記入例を示したガイドを作成することで均質な記録の定着を図る。